

「One Minute Video」制作の事例—北海道佐呂間高等学校編—

英語科 渡辺 知陽

本校について

本校は日本で3番目に大きな湖であるサロマ湖を有する佐呂間町の道立高校です。生徒数は62名、各学年1クラスと小規模な学校です。国の CORE ハイスクール指定校、北海道の地域連携特例校に指定されており、日頃より遠隔システムを使用した授業等も行われています。また、佐呂間町の全面的な支援で、既に1～3年生全員が Chromebook を購入し、授業等で活用しています。

授業の目的

今回の4コマに渡る授業では、「OMV コンテスト」にご尽力されてきた五嶋先生(元:東海大学教授)を講師にお招きし、「英語を使用した映像表現の手法を学ぶ」というテーマで、本校の授業とコラボレーションすることが目的でした。言語を用いて他者に考えを伝えるプレゼンテーションは日頃学んでいる一方、映像制作については分からない点が多く、その点を五嶋先生に支援していただきました。言語としての解釈の「映像言語」を通じ、自身のメッセージを1分間の映像で表現する学習です。また、実際に「OMV コンテスト」に出品することで、実社会に自身のメッセージを発信する、言語(英語)の実際の運用力を試す契機と位置づけました。参照:「One Minute Video コンテスト」公式 HP です。 <https://oneminute.jp>

授業対象と回数

本校3年生の習熟度別クラス「コミュニケーション英語Ⅱ」の応用クラス6名を対象に、計4時間の講義と演習の時間を設けました。

授業の流れ

①映像制作を学ぶ理由と映像言語について、②自分たちの企画立案、映像言語への翻訳について、③60秒にメッセージを込める手法、④映像制作の具体的な手法とアドバイス、について各時間講義、演習が行われました。

使用機器

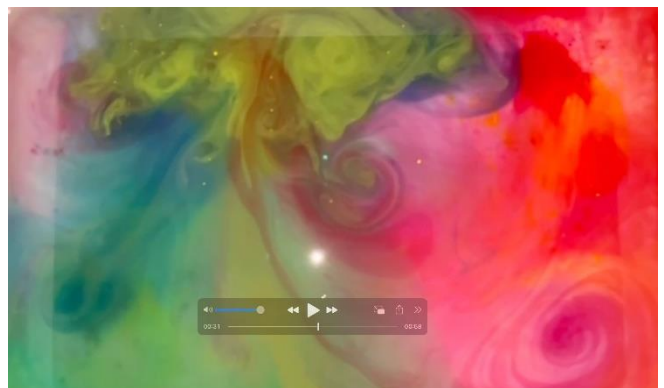
授業は Chromebook の Google Classroom、撮影はスマートフォンを使用して行われました。

授業を終えて

北海道の佐呂間町という遠隔地においても、それが教育にとっての遠隔地になってはならない。こうした思いから、映像制作に関する最前線の知見を持たれる五嶋先生を講師にお招きし、Google Classroom というオンラインで講義をしていただけたことを大変有り難く思います。生徒達も日常の環境に風穴が開くような思いで講義に聴き入り、演習に取り組んでいたと思います。

何かと手軽に映像制作が出来る時代ではありますが、制作に係る適切な手順や技法を知っていると知らないでは、その作品が持つ魅力や奥深さに大きな違いが生まれると感じました。映像制作のプロフェッショナルである五嶋先生と、英語科、その他様々な科目がコラボレーションすることで、より深い学びが生まれるということを実感しました。改めて素晴らしい講義とご支援に心より感謝申し上げます。

授業風景、制作した動画のワンカット



(2022年8月5日提出)